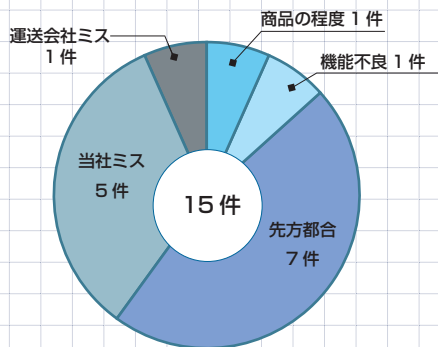


# リポートニュース

令和4年12月号 NO.247

資材部が使用しているイズズ エルフの代替えを控え、新車購入の手続きを完了してから10ヶ月近く経過した年末になっても納車日の目途が立っていない！原因は、半導体不足が足かせとなり生産回復が思うようにいかないらしい。乗用車メーカーでは、受注量の多い車種を優先的に生産して急場を凌いでいると聞く。一方、円安で海外輸出は利益が高く、新車・中古車共に順調に海外に輸出されている。特にロシアでは新車ライン停止で需要が増大している。このため国内中古車市場では、価格高騰を招いている。収益力の高い海外市場に軸足を置き過ぎている現状が改善され、国内需要を満たす生産能力の回復は、どうやら円安が収まらない限り続きそうな気配です。

## 11月のクレーム ① 集計報告

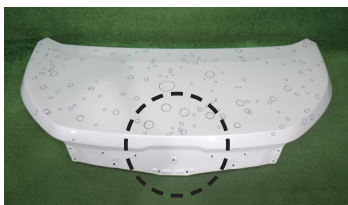


## 自社主力商品別クレーム (輸出販売はノークレームのため対象外です。)

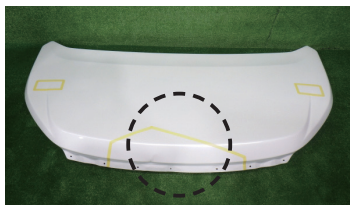
商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	0件	0/969	0.0%
フード	0件	0/240	0.0%
フェンダー	1件	1/524	0.19% 程度が悪く手間がかかる 1件
ドア・Rゲート	0件	0/171	0.0%
ヘッドライト	1件	1/697	0.14% モーターの故障?で故障表示が出る 1件
計	2件	2/2,601	0.07%

## 豆知識 トヨタ ノア、ヴォクシー R4.1～フードの見分け方

NOAH	先端にモールが入る凹みが有る
VOXY	先端は凹み無し



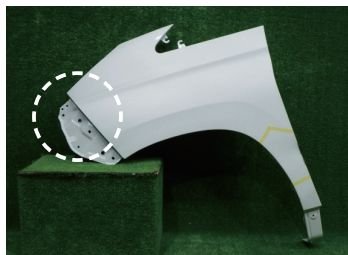
ノア先端



ヴォクシー先端

## 豆知識 トヨタ ノア、ヴォクシー 現行90系 R4.1～フェンダーの見分け方

VOXY	上部キャラクターラインが先端カドの下にある
NOAH	上部キャラクターラインが先端カドの上にある



ヴォクシー



ノア

## 豆知識 トヨタ プロボックス、サクシード P160系 ドアミラーの年式による形状変更

前期	H26.9～R2.8	P58系(旧型)と同じデザインで全体に角張る
後期	R2.8～	丸味を帯びたデザイン



P160系 前期



P160系 後期

## 日の丸半導体

日刊自(霧灯)から抜粋

トヨタ、デンソー、ソニーグループなど国内企業8社が半導体新会社「ラビダス」を設立、自動運転や人工知能AIなどに使う次世代半導体を国内で量産することが決定されました。半導体生産の大きなシェアを持つ台湾と中国との緊張関係続く状況で、台湾からの調達依存度を下げるリスク回避となります。依然と続く半導体不足で自動車メーカー各社は、いずれも量販が見込める車種だけに絞って新車販売を予定していますが、いかに納期を短縮できるかといった問題は、まだ残ります。・・・乗りたい車がすぐに手に入る状況はまだ先の話のようです。

## 手渡しリレーは続く!!

10月の第五土曜日を利用して社員全員で丸一日、ヘッドライト倉庫内の配置転換を行いました。今回は、原材料のコア移動と違い、すでに商品化された部品の為、移動先の棚番に合わせた配置が必要でしたので、人海作戦となりました。販売傾向は、商品情報が付加された登録部品が主流になっているので、より広い保管スペースが必要になります。効率的な在庫管理を維持するには、商品化した部品とコア保管とのスペースの流動的な住み分けが求められます。



## ISO9001 内部監査



2002年4月の取得した品質マネジメントシステムが20年目を迎えました。生産部と営業部の7部門に経営者、ISO事務局が対象となり、監査重点事項は、「品質目標及びそれを達成させるための計画策定とリスク及び機会への取り組み」を重点に監査がおこなわれました。今回、新しく監査員に任命された社員2名は、事前に3時間の講習を受けて臨みました。他部門の業務内容を知る良い機会になっているようです。

## 社内業務 デジタル化への取り組み

12月の給与支給日から給与明細が紙ベースから電子化へ変更することになりました。今後は、従業員のスマホに給与明細書がメール配信されることとなります。給与明細書の印刷、封入、配布作業が無くなり、経理担当者の負担もかなり軽減できることとなります。人手不足の中で、お客様へのサービス向上に集中するため、社内業務の改善に努めております。

## 気になるニュース「走行距離税」が提案されました!

将来的な電気自動車(EV)の普及を踏まえた「走行距離税」が提案された背景には、ガソリン税などの減収が挙げられます。ハイブリット車の普及に加え、完全にガソリンを使わないEVユーザーが増加することで、将来的に道路整備に使う財源が不足する恐れがあるという。今回の提言は、仕方がないかもしれませんが、EVの普及に影響が出る恐れもあります。・・・EV先進国のヨーロッパや中国がどのような対策を講じるのか?注目の問題です。

